



温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)シリーズによる 排出量検証に向けた技術高度化事業

平成30年度予算(案)
1,740百万円(4,542百万円)

イメージ

背景・目的

事業目的・概要等

- 世界初の温室効果ガス専用の観測衛星である「いぶき」(GOSAT)は平成21年の打上げ以降、5年の設計寿命を過ぎた現在も全球を観測し続けており、温室効果ガスの吸収・排出量の地理的分布と季節変動・年々変動(大気中の濃度増加)を把握することで世界に大きく貢献している。
- 気候変動の科学に貢献するため、平成28年4月に閣議決定された「宇宙基本計画」に基づき、後継機「いぶき2号」(GOSAT-2)を打ち上げ、全球の継続観測を実現する。
- 打上げを確実に実施するための安全管理や、打上げ後の安定した衛星運用と観測データの定常的な取得、プロダクト作成を行う。
- 温室効果ガスインベントリの整備が不十分な途上国において、GOSATシリーズの観測データを検証ツールとして活用することを目指す。
- 大都市・大規模排出源単位の排出量把握により、二酸化炭素排出量の算定・報告・検証(MRV)の技術高度化を図る。

事業概要

1. GOSAT-2の開発・打上げ・運用

- (1) 打上げ準備(安全管理)
- (2) 運用(衛星追跡管制、低次プロダクト作成など)

2. 排出量検証に向けた技術高度化

- (1) 検証計画に基づいた地上観測等の整備・検証事業
- (2) GOSAT-2のデータ処理技術高度化
- (3) 衛星による温室効果ガス排出インベントリ検証のためのガイドブック作成
- (4) 低炭素社会実現に向けたアジアでの効果検証事業

事業スキーム

委託対象：民間団体等

実施期間：開発・打上げ・運用=12年間(平成24年～平成35年)

※平成26年度までは一般会計で実施

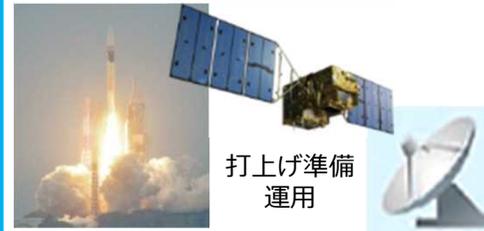
期待される効果

- 「いぶき2号」打上げにより、世界の温室効果ガス排出量・吸収量の継続的な監視を行うことで世界各国の排出量削減実施の透明性を高めることができる。
- 大都市または大規模排出源単位での二酸化炭素等の排出量把握を行い、アジア諸国等におけるMRVの高度化を図る。
- 世界各国が提出する温室効果ガス排出インベントリの検証ツールとして活用することで、インベントリの整備が不十分な途上国において正確な排出量把握に寄与する。

国際的な貢献・施策立案への活用

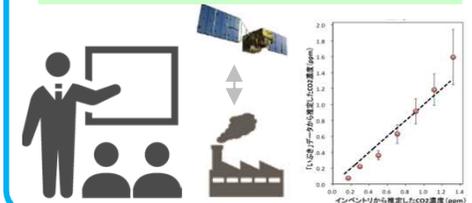
- 米国をはじめ世界各国の観測衛星等との連携協力
- MRV技術高度化による温室効果ガスの排出量把握
- 世界各国における排出インベントリ検証ツールとしての活用

1. GOSAT-2の開発・打上げ・運用

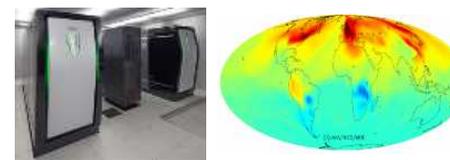


2. 排出量検証に向けた技術高度化

排出インベントリ検証のためのガイドブック作成

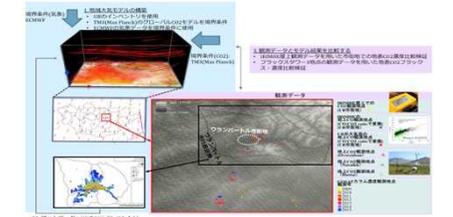


データ処理技術高度化



地上観測等や大気輸送モデルとの統合的な解析のためのアルゴリズム開発

アジアでの効果検証



検証計画に基づいた地上観測等の整備・検証事業

